

議会だより

福島県中島村議会



〈交通安全・防犯パレード「滑津小鼓笛隊」を先頭に
広報活動が行われました。 H29.5.30〉

◇ 第2回定例会・補正予算	2
◇ 条例・議員発議	3
◇ 一般質問	4~7
◇ 第1回追跡レポート	8
◇ 常任委員会報告・村長行政報告・議員研修	9
◇ 第1回臨時会・議会のうごき・編集後記	10



なかじろうさん

一般会計補正予算 地域づくりと児童館等の充実 で1,711万円を増額

第2回 定例会

一般会計は、1,711万円を増額補正し、31億3,732万円の予算額を可決しました。

主な歳入は、一般コミュニティ助成事業助成金250万円、財政調整基金からの繰入金1,454万円を増額しました。

主な歳出は、滑津原行政区へのコミュニティ補助金250万円、教育費の修繕費72万円を増額し、公債費466万円を減額しました。

会計名	補正額	予算総額
一般会計	1,711万円	31億3,732万円
国民健康保険特別会計	予備費充当のため、 予算増減はなし	6億6,305万円
介護保険特別会計	△24万円	4億5,750万円

第2回議会定例会は、6月9日から13日までの会期で開催しました。議案は、報告2件、条例の一部改正が2件と補正予算3件が村長から提出され、原案のとおり可決しました。また、議員発議の意見書2件と陳情に伴う発委1件が追加提案され、いずれも原案のとおり可決しました。

一般質問は、4名の議員が登壇し、役場等の建物内での禁煙、童里夢公園の再整備計画、ふれあいの家の利用状況、学校給食の食材の調達方法など村の考えを問いました。

補正予算質疑

問

椎名康夫 議員

青年就農給付金から農業次世代人材投資資金に名称の変更による予算の組替えと説明されたが、制度の内容変更はないのか。

答

企画振興課長

補助金の内容は、現在とほとんど変わりはありませんが、2点の要件が加わりました。

滑津原行政区へコミュニティ助成金 やぐら作成に250万円



なめつ原ふれあい祭り

サポートチームの創設

1点目は、村の指導体制で、サポートチームをつくり、新規就農者へ経営、資金、技術等のバックアップをすることが義務づけられました。

すでに、新規就農者で現在給付金を受けている方は、報告書の提出になります。

補助金返還の明確化

2点目、この制度は、新規就農者が就農するにあたり、年間150万円の給付金を最長5年間受けられますが、新規就農者が計画に基づいた健全な就農を継続していない場合、補助金の返還が求められることになりました。

議決された条例

◇ 条例の一部を改正する条例

地方税法等の改正に伴い、配偶者特別控除や軽自動車税特例措置などを見直す改正です。

審議結果 原案可決

◇ 国民健康保険税条例の一部を改正する条例

平成29年度税制改正大綱により、国民健康保険税の軽減について、対象世帯判定基準を改正するものです。

審議結果 原案可決

議員発議

○ 東京電力福島第1原子力発電所・福島第2原子力発電所の廃炉を求める意見書を可決

原発事故から6年が経過する中、県内では食品等の放射生物質検査、健康管理、風評被害対策など放射性物質に対し、対策をとらなければならぬ状況が続いている。

事故を起こした原発は、いまだに原因究明、廃炉作業の収束が見えない状況であるとの提案理由の説明があり、審議の結果、意見書を国の関係機関に提出することに決しました。

国の責任で廃炉の早期実現を求める

福島県が原発事故前の生活を取り戻すため、国の責任において、福島第1・第2原子力発電所の廃炉を早期に実現するよう意見書を「衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、経済産業大臣、復興大臣」に提出しました。

○ 衆議院小選挙区の区割り改定並びに選挙制度の抜本的見直しを求める意見書を可決

今回の衆議院小選挙区の区割り改定では、西郷村が福島3区から同4区へ編入することになりました。西郷村は、編入に反対し、県南地方1市3町村議会でも改定に反対してきました。地方を活性化するには、当事者である地方

の意見が最大限生かされることが重要であり、人口によって単純に区割りを変更することは、地方創生に逆行するものとの提案理由の説明があり、審議の結果、意見書を国の関係機関に提出することに決しました。



廃炉作業が行われている福島第1原発第3号機

地方に配慮した区割りを要望

現行の衆議院小選挙区選挙は、1票の格差以外にも課題があることから、基礎的議員の配分を加重するなど地方に配慮した安定した区割り、さらには、小選挙区から中選挙区制に還元するなど選挙制度の抜本的見直しを要望する意見書を提出しました。

児童館人件費の内容は

問 小松公雄 議員

児童館費の給料、臨時職員賃金の増額の理由は。

答 総務課長

児童館費の給料は、新規採用2名分の給与です。

臨時職員賃金は、児童館長で嘱託職員ということに計上しました。

問 小松公雄 議員

館長は、嘱託職員とのことですが、勤務体系はどのようになっていますか。

答 総務課長

館長の勤務体系は、行政一般の職員と同様でなく、月に13日程度ということになります。



小室 辰雄 議員

問 役場庁舎等の建物内での禁煙の理由は？

答 受動喫煙からの健康被害を防止

問 役場庁舎及びそれに類するすべての建物内において、禁煙としたその理由と喫煙ルームの設置の考えはあるか。

答 村長

健康増進法（平成15年5月制定）第25条には、受動喫煙法の防止に関する努力義務が定められています。その内容は、学校、体育館、病院、集会場、官公庁施設、その他多数の者が利用する施設の管理者は、これらを利用する者に受動喫煙を防止



建屋外の喫煙所

するために、必要な措置を講ずるよう努めなければならない。と定められています。この法律は、たばこを吸わない人を「受動喫煙」による健康被害から守るための法制化であり、公共施設管理者の義務として定められています。役場では、庁舎内禁煙になっていることから、建屋外2か所を指定し、喫煙所としています。喫煙ルームについては、今後の状況を見ながら判断したい。

一般質問

問 総合振興計画の達成度は？
答 達成度は8〜9割程度を予想

問 本年度は、第5次振興計画の前期計画終了年度にあたるが、計画された事業の到達度はどの程度か。

答 村長

総合振興計画は、平成25年度から平成34年度までの10年間の村の進むべき方向を定めているもので、前期5年、後期5年の計画となっています。現在、後期に向けて見直しを進めているところです。前期計画の達成度は、平成28年度の実績評価がこれから行われること、平成29年度は事業

進行中であるため、正確な数字は出ませんが、8〜9割程度を予想としています。

問 事業の検証、見直しはどのように行われるのか。

答 村長

検証は、事業年度の翌年度（平成27年度分を平成28年度）に事業評価を実施します。評価は、各担当課で実績評価を行い、次に各課長等で組織する「振興計画策定推進調整会議」で検証し、さらに、第三者機関「村総合開発審議会」で検証いただいています。この結果を各課に戻し、ローリング方式で見直しをしているところです。

○施策目標前期達成の一例

施策の目標及び内容
◇子供のための総合施設新設 ・児童館の設置
◇児童クラブの拡充 ・1年生～6年生までの対象学年拡大
◇保育料の軽減 ・軽減額の拡大
◇農産物直売所開設 ・なかじま産直館「きらっしえ」の開設
◇防災無線用個別受信機の更新 ・デジタル受信機1,250台設置



小室 重克 議員

問 童里夢公園なかじまの再整備計画の考えは？

答 現在の自然公園を生かした
親しまれる公園づくりを進めたい

問

童里夢公園な

かじまは、平成9年度にオープンし、20年が経過しました。公園内は、モニユメント広場、ウォーキングコース、わんぱく広場、バーベキュー広場など、村内外問わず多くの方に親しまれてきました。しかし、修繕等の要望も耳にします。「よかつぺ時計の三日月は上がらないの。外観の塗装計画は。」、「池の水の浄化やガマの穂を



「よかつぺ時計」三日月は上がらないの？

なくす方法はないのか。」「遊具の修繕は。」「トイレの塗装。洋式化は。」など、関係者のご苦勞は感じています。が、限界はあります。と感じています。公園整備にあたっては、公園の検証や住民アンケートを取り、専門家の意見を入れるなど、長期整備計画の考えがあるか伺いたい。

答

村長

童里夢公園なかじまは、開園当時から自然を生かした「自然公園」として親しまれ、多くの方に利用されています。一時は、原発事故で利用者が低迷しましたが、現在は、産直館「きらっしえ」のオープンもあり、震災前を超える利用があります。



新たに設置された遊具

点検結果に基づき
遊具等の修繕を実施

童里夢公園は、20年が経過し、施設も老朽化が進んでいる箇所も見受けられます。

このようなことから、遊具等施設は、専門家による点検を昨年度実施しました。その結果に基づき、公園全体の改修及び修繕を計画的に行うよう取り組んでいるところです。

森林環境交付金を
活用して景観整備

公園内の景観は、平成25年度から「森林環境交付金事業を活用し整備が行われているところです。

本公園には、様々なブースがあり、これらも、当初計画に沿って、各ブースとも自然環境を活かした公園として、既存施設を維持し来場者に親しまれる魅力ある公園づくりを進めてまいります。



〈ハメロカリス〉公園で撮影

一般質問



鈴木 新平 議員

問 ふれあいの家の宿泊利用状況は？

答 平成27年度では、70名

ふれあいの家の宿泊利用状況は、平成27年度は、村内の方が1件3名、村外の方17件67名、合計で18件70名です。平成28年度は、村内の方2件3名、村外の方8件42名、合計11件45名の宿泊がありました。宿泊者の主な内訳は、葬儀、法事、結婚式等の冠婚葬祭で来村された際の宿泊



ふれあいの家の宿泊施設

問 ふれあいの家は、福祉の宿泊施設として利用されているが、村内宿泊者数、村外宿泊者数、足湯はどのような方が利用しているか。また、今後のさらなる利用促進についての考えも伺いたい。

答 村長

日中の集会所利用状況は、平成27年度は、69件480名、平成28年度は、59件431名の利用があり、地域の高齢者福祉施設として定着してきています。入浴は、福祉センター内に浴槽を設置

が多いようです。

集会所の利用は、

地域の高齢者福祉

施設として定着

一般質問

「福祉センター」の修繕計画は？

答

危険度や重要度により修繕を実施

問

温泉施設は、

浴槽の鏡、浴槽に入浴するドアなどに老朽化が目につくようになってきたが、施設の修繕計画はあるのか。また、総合福祉センター全体として、修繕の必要はないのか伺いたい。

答

村長

総合福祉センターは、利用開始から20年が経過し、経年劣化による損傷が見られます。東日本大震災による被害もあり、危険度や重要度により修繕は実施しています。



福祉センター温泉施設

ご指摘の浴室の鏡は、入浴の際の洗剤、滅菌のため使用している塩素系殺菌剤等の影響により映りが悪い状況です。この鏡は、今年度交換を予定しています。福祉センター全体の修繕も建物、機器等の調査及び状況把握に努め、今後修繕を検討して参ります。



椎名 康夫 議員

問 学校給食に使われる中島産の食材は？

答 全体では地場産は40%充当



食材の荷受けの様子

問

子供達の成長

に欠かせない学校給食ですが、給食に使われる食材で中島村の地元産が占める割合は、どの位の数字でしょうか。また、その調達方法は、どのようになっているのか伺いたい。

答

教育長

地元産の使用状況についてお答えします。この結果は、県からの依頼で調査した平成28年11月14日から11月

18日までの結果です。

使用割合は、米などの穀類が80%、ジャガイモなどのでんぷん類が63%、ニンジンなどの緑黄色野菜45%、白菜、大根、玉ねぎなどその他の野菜が82%になっています。

次に地場産の調達は、「JA夢みなみ」、「中島産直館きらっしえ」などからです。米は、中島村産「シヒカリ」を使用しています。

一般質問

問

平成28年度の

学校給食費の未納額は

どの位あるのか。

通年の未納繰越額は、

いくらか。

その回収方法は、どの

ように考えているのか

伺いたい。

答

教育長

平成28年度以前の過

去5年間の未納額は、

年度によって違いはあ

りますが、未納者は3

名から8名、未納額は、

10万から40万円ほどに

なっています。

問

平成28年度給食費の未納額は？

答

未納額は、10名で37万円



学校給食の様子

給食費は、ほとんどが保護者の口座からの振替です。振替ができなかった保護者に対しては、学校経由で「振替不能通知」を配付し、納入を促しています。それでもなお、納入がなされていない保護者に対しては、電話や面談を通して納入を依頼しています。

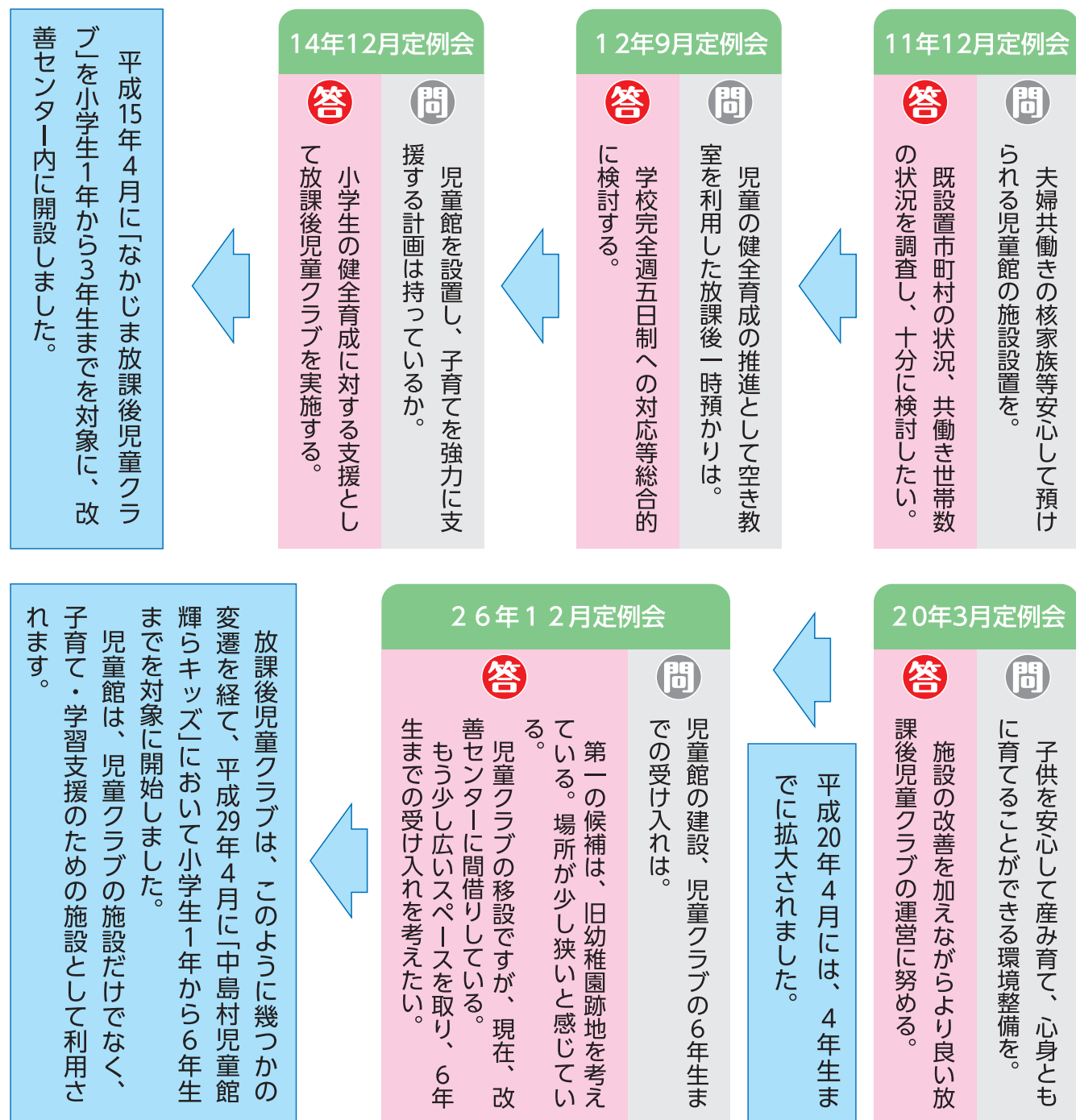
児童手当法の改正により、申し出により徴収が可能に

さらに、児童手当法の改正により、平成27年10月から、「児童手当を受ける前に、学校給食に充てることを申し出た場合は、徴収できるようになったこと」を活用し、全員からの徴収に努めているところですが、それでもなお未納者がなくならない状況です。

あの提言 どうなった！！

議会が行う質問や提言が、
村政にどう反映されたか。
これまでの一般質問の中か
ら一部を取り上げ、現在の事
業に至った事業等を検証して
みました。
問は議員、答は村長等

● 児童館「輝らキッズ」 平成29年4月落成



総務教育常任委員会

陳情の審査結果は

「採 択」

意見書は、6月14日付で国の関係機関に提出しました。

◎件名

総務教育常任委員会は、付託のあった陳情1件について、6月9日委員会を開催し、内容を審査しました。審査結果は「採択」、発委第2号として、本会議に提出し、可決されました。

◎陳情団体

福島県教職員組合

村長行政報告

平成30年には除染物の搬出完了予定

村内の除染業務は、平成28年度で完了し、除染物はすべて仮置場へ搬入しました。

これからは、仮置場の管理業務が主で、中間貯蔵施設への搬出が完了するまで、業務が継続されます。平成30年には、搬出が終了する予定です。

滑津小鼓笛隊が交通安全と防犯を呼びかけ

5月30日滑津小鼓笛隊と関係団体の皆様の協力を得て、交通安全防犯パレードを行いました。気温30度の猛暑の中、交通安全と犯罪防止を呼びかけ、意識の高揚をはかりました。

中学校の修学旅行
マレーシアへ

中学校の修学旅行は、4月23日から27日の5日間で、昨年に引き続きマレーシアコタキナバルを訪問し、イナムセカンダリースクールの交流会では、英語による日本の四季をプレゼンする体験もできました。

また、マングローブ探索、マリンスポーツも楽しむことができ、貴重な海外体験と思いに残る修学旅行であったと考えます。

このような体験をした生徒が、将来海外で活躍できるように今後支援して参ります。

◆議員研修 「広報研修会」

「もっと身近に もっと読まれる 議会広報づくり」を目指します

5月22日郡山市「ビックパレットふくしま」において、町村議会広報研修会が開催され、広報編集委員全員で参加してきました。

研修会は、「もっと身近に もっと読まれる議会広報づくり」と題し、エディター、広報アナリスト吉村 潔氏の講義を受けました。今回の研修で学んだ「議会広報6つのポイント」を今後の広報づくりに生かし、今以上に「村民に読まれる 議会活動が伝わる」議会だよりになるよう努めてまいります。

交通安全・防犯パレード



広報研修会の様子

議会のうごき

5月15日	・村老人クラブ連合会総会
19日	・白河地方広域圏第2回組合議会臨時会(白河市)
19日	・村商工会第52回通常総会
20日	・滑津・吉子川小学校運動会
22日	・町村議会広報研修会(郡山市)
25日	・第67回地方植樹祭(矢祭町)
30日	・村交通安全・防犯パレード(滑津小)
31日	・全国町村議会議長・副議長研修会(東京都)
6月1日	・議会運営委員会
2日	・県町村議会議長会定期総会(福島市)
9~13日	・第2回議会定例会
9日	・総務教育常任委員会
7月1日	・商工会企業連絡協議会総会
2日	・消防団ポンプ操法大会
7日	・主要地方道棚倉矢吹線道路整備促進同盟会総会(矢吹町)
9日	・県消防協会白河支部幹部大会(白河市)
19日	・第1回議会臨時会
19日	・広報編集委員会
30日	・いきいきフェスタinなかじま

第1回議会臨時会

屋内ゲートボール場改修工事 請負契約締結を議決

第1回議会臨時会は、7月19日に開催し、屋内ゲートボール場改修工事請負契約締結の議案が提出され、審議の結果、原案のとおり可決しました。

契約金額は、1億188万8千円です。改修工事は、来年3月の完成予定です。

ランニングマシン等
各種器具も設置

今回の改修工事は、ゲートボール場を全面改修し、スタジオ兼研修室や人工芝の多目的スペースなどに改修され、ランニングマシンなど各種器具が設置され、介護予防事業等に活用されます。

水野谷 薫氏 県知事表彰受賞

5月11日福島市杉妻会館において、功労者県知事表彰の表彰式が行われ、元議会議員の水野谷 薫氏が地方自治振興の功績が認められ、受賞となりました。水野谷さんは、村議

として平成11年から4期16年間在職し、議長を平成23年から1期4年間務めました。

また、昭和50年から村統計調査員協議会の会員として統計調査に従事し、平成11年4月から平成29年3月まで、会長として職務に当たりました。

あなたも議会を傍聴してみませんか

第3回定例会は

9月7日開会予定

議会傍聴の手続きは、住所・氏名等を記入するだけで済みます。ぜひお出かけください。詳しくは、議会事務局に問い合わせてください。

☎52-13486

編集後記

7月2日(日)に、村消防団によるポンプ操法競技大会が行われました。

団員のみなさんは、それぞれ仕事を持ちながら、練習の成果を一杯発揮する姿に頭が下がる思いでした。

そして、火災は勿論、日本各地で起きている大雨による自然災害を見る度に、消防団の存在を頼もしく感じています。

村でも防災計画を作成し、備えています。家族間でも万が一の時の状況を想定して、連絡の取り方や避難場所の確認など、最低限の事は考えておく必要があると思っています。連日暑い日が続いています。皆様には、体調に十分留意されお過ごしください。

広報編集委員 小松公雄